



2月22日、海の博物館で「第13回浦村牡蠣の国まつり」が開かれ、県内外から約4,000人が訪れました。

会場では、カキの詰め放題、カキや豪華商品が当たるくじ引き、焼きガキ、蒸しガキなどのブースに長蛇の列ができていました。

カキの詰め放題に参加した人は、「もう買わなくていい」「これでカキパーティやね」など満足げに話していました。

また、鏡浦中学校の生徒10人がボランティアとして参加し、お菓子や、紅白の餅を来場者にまくサプライズイベントが行われました。

浦村カキ7万個が用意されました



市では、3月4日、市コミュニティバス「かもめバス」にもっと親しんでもらい、移動手段として気軽に利用してもらえるよう、離島の高齢者を対象に「バスの乗り方教室」を開きました。

教室には、神島老人会から20人が参加し、市職員からバスの概要や「ハッピーチケット」「乗継割引券」などについての説明を受けた後、実際にバスに乗車して整理券の取りかたや降車ボタンの押しかたなどを体験しました。この日の教室で初めてバスを利用するかたもいて、参加したみなさんは楽しそうにバスの乗りかたを学んでいました。

かもめバスで行こう



3月1日、松尾第二工業団地内で森林整備により間伐した木材を市民に無償配付しました。受け取りに来た市民は、長さ1メートルに加工された木材を1本ずつ軽トラなどに積み、約22トンもの間伐材が3時間余りであっという間になくなりました。

この間伐材は、一般家庭で薪ストーブなどの燃料に使われ、エネルギーの利活用が図られます。

木質エネルギーの利活用に向けて



3月8日～9日に東京で行われた第18回全国少年少女選抜レスリング選手権大会で、市立鳥羽小学校5年の山口太一くんが全国優勝に輝きました。

決勝までの3試合を大差で勝利し、決勝戦でも持ち前の攻撃的なレスリングで着実にポイントを重ね、念願の初優勝を成し遂げました。

3月18日には木田市長へ大会結果を報告し、太一くんは「将来の夢は、オリンピックで金メダルを取ることです」と力強く話してくれました。

レスリング全国優勝おめでとう